

■寄付者

茨城県 稲敷郡美浦 榎田宏樹	仙台市青葉 菊地江美子 今野麻美 山田恵梨 佐藤朋子 早川裕治 東山真太郎 千葉康平 豊永紋子 大内信雄 山田一子 株式会社LateralKids 今野和彦 松本鉄兵 瀬下綾子 小笠原千夏 渡部祐子 片倉明日香	仙台市泉区 千脇春美 三浦敬大 高品洋平 高木恭子 木浪敏江 伊藤奈美 佐々木寛子 熊谷ひろ子 佐々木淳子 クァクビ純 小野寺良子 吉野美由紀 佐賀道代 金須利子 小林里代 志賀肇子 伊藤美雅 佐藤志保 佐藤春美 北中山整骨院	仙台市太白 日野正義 武島ゆかり 念佛明要 大崎市 渡邊彩子 安田恵 富谷市 岩元優子 星忠志 阿部有貴恵 関口紘子 米富加奈子 岩村裕 亘理郡山本 前澤美恵子 埼玉県 埼玉市 大江明行 山形県 山形市 芳賀孝子 加登裕幸 重原友幸 荒木浩 西村山郡大 渋谷稔	静岡県 静岡市葵区 後藤晴夫 後藤光久 千葉県 習志野市 久保信好 後藤真理子 松戸市 日野寛之 船橋市 二平俊子 東京都 荒川区 大江朝子 杉並区 高橋保雄 大田区 佐藤光明 中央区 社会福祉法人清水基金 栃木県 宇都宮市 甚野浩輔 富山県 魚津市 野島比呂司 その他 匿名希望 2名
宮城県 宮古島市 株式会社ビザライ	仙台市青葉 高橋京子 高橋幸江 大澤瑞穂	仙台市青葉 高橋京子 高橋幸江 中島美寿々 関智子		

Fruit Farm

Vol.3

2017夏号



NPOあいの実

あいの実情報通信誌[フルーツファーム]

自分にして欲しいと思うことを
他の人に行う
Golden Rule

Fruit Farm

フルーツファームがもっと欲しい方はあいの実事務所までご連絡ください。必要部数等をお知らせいただければ無料で送付いたします。
また、店頭や公共の場所に置いてくださる方も募集しています。
私たちの活動を広く知らせていただくことも大きな支援となります。



NPOあいの実では常勤・パート職員を随時募集しています！

訪問介護

看護師・介護福祉士・ヘルパー等

風通しの良い職場で確かなスキルを身につけることができます。やりがいのある仕事を求めておられる方はもちろん、キャリアアップのために、またご家族の生活を支えるために働けます。
介護未経験者&ブランク有の方大歓迎！

障がい児(者)通所

看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・保育士・ヘルパー等

小児介護の分野はまだ人材不足。新たな分野にチャレンジして下さる方を広く募集しています。経験豊富なスタッフの研修を受けた上で就業ですので安心して働けます。

詳しくはホームページへ <http://ainomi.com>

ご支援をお願いします！

重い障がいを持っている方たちと家族の支援が緊急に必要とされています。
しかし、行政の財政補助は限られています。あいの実が支援活動を続けるために皆様からのご支援を本当に必要としています。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申込みの場合

個人年会費(一口 3,000円)
団体年会費(一口10,000円)
どちらかを選択してください。
賛助会員ステッカーを差し上げます。

○ご寄付をお申込みの場合

ご自由に金額決めてお振込みいただけます。

●各種お振込先のご案内

振込みはゆうちょ銀行の専用口座、または銀行口座へお願いいたします。(誠に恐れ入りますが、手数料は別途ご負担願います)

【ゆうちょ銀行からのお振込み】

口座番号：02210-5-0140782
口座名：特定非営利活動法人あいの実

【ゆうちょ銀行以外からのお振込み】

銀行名：七十七銀行
支店名：泉パークタウン支店
預金科目：普通
口座名義：NPOあいの実 理事長 乾 祐子
口座番号：5360757

【オンライン寄付】

特設ページ(<http://kifu.ainomi.org/>)より寄付の決済をクレジットカードで行うことができます。利用できるカードはVISAカードとMasterカードです。



Question

▶NPO法人は大勢の方の賛同や支援によって運営されています。賛助会員とは、わたしたちの活動に賛同して下さる方たちのことです。そして、NPOあいの実の活動を多くの方に広めていただく広報係としての役割があります。賛助会員になられた方には賛助会員ステッカーを差し上げます。お好きな場所に貼ってわたしたちの活動を宣伝していただければと思います。



ご親戚、お友達にもお声がけいただけると幸いです

寄附金額の最大50%が税金から戻ってきます

「NPOあいの実」は「特例認定NPO法人」となっており、あいの実への賛助会員費・寄付金は確定申告の際に税制上の優遇措置を受けることができます。「寄附金受領証明書」を送付いたしますので、確定申告の際にご利用ください。詳しくは最寄りの税務署にお尋ねください。

Fruit Farm

第3号 2017年7月10日発行
<http://ainomi.com>

■重症児デイネットシンポジウム



東北にもっと
重症児デイサービスを！

あいの実理事長の乾祐子です
○ご寄付のお願い

Fruit Farm

NPOあいの実

【編集・発行】特例認定特定非営利活動法人あいの実
〒981-3217宮城県仙台市泉区実沢字中山北100-2
Tel:022-346-1730 / Fax:022-346-1731
Mail:info@ainomi.com / HP:http://ainomi.com



あいさつ | 理事長の乾祐子です

重

症児デイサービス・ネットワークのシンポジウムを、あいの実主催で開催しました。NPOあいの実ではこれまでも公開勉強会などを度々開催してきたのですが、主催した会合では一番大きな規模となりました。総勢200名を超える方たちが集まり東北地方でも重症児支援の関心が高いことが裏付けられました。そして支援がもっと必要であることが確認されました。このシンポジウムが東北地方での重症児支援インフラの構築に役立つことを願っています。

プログラムの中で、あいの実の放課後デイサービスを利用してくださっている高橋ファミリーにインタビューしました。なんども話し合っ、練習して、本番に臨みました。出来はバッチリ！そして、話し合いでも練習でも、わたしたちの行っている支援は本当に必要とされていて、感謝されていることを改めて知り、これから事業を運営していくモチベーションをさらに上げることができました。これからも支援を精一杯つづけていきたいと思ひます。

乾 祐子



ご寄付のお願い

わ

たしたちの施設には、重い障がいをもつ子どもたちのための銭湯があります。医療的ケアがあっても広々として、安全にゆったりとくつろぐことができるお風呂です。

あいの実では、誰もが当たり前のようにできることを皆ができるようになるべきだと考えています。それで、日頃から何かと負担の多いご家族からはお風呂台を徴収せず、無料のサービスとして行っています。

もちろん、お金はかかります。設備や物品、人件費を考えると一回あたり500円くらいかかります。それで、多くの志のある方々から寄付をいただき、このサービスを無料で維持して行けるようご支援をお願いしております。本誌裏面に情報がりますので御覧ください。

全国重症児デイサービス・ネットワーク 東北にもっと重症児デイサービスを！ シンポジウム

東

北地方の重症児支援の輪をもっと広げられないか、との思いで企画したシンポジウムが、6月17日土曜日に仙台国際センターにて開催されました。たくさんの方々から東北地方全域からおいでくださいました。

事業者の参加が2/3を占め、これから重症児デイを立ち上げて、支援を始めたいと思っている方たちが大勢いらっしやるのがわかりました。

また、20%を超える方が重症児本人とご家族でした。この分野で、なんとかして欲しいと思っている家族がまだまだ大勢いることを感じます。

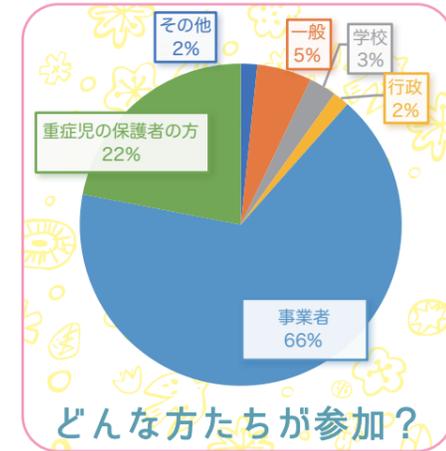
参加者の皆さんが、どのセッションでも真剣に話を聞いておられる様子は、今後東北地方での重症児支援の発展を期待させるものでした。

登壇者の方々は、在宅支援に必要な視点や、仙台市におけるこれまでの支援と課題についてお話をいただきました。また、放課後デイサービスを利用していらっしゃる方のインタビューや放課後デイサービスを立ち上げた方のインタビューなども含まれ、これから事業を行う方たちにとっても有益な情報が盛りだくさんでした。

田中総一郎先生

【あおぞら診療所ほっこり仙台 院長】

在宅支援の充実の必要性を詳しいデータなどを通して示してくださいました。医療は生命の安全を、福祉は社会生活の質の向上を目指すという連携を提案してくださいました。



どんな方たちが参加？

遠山裕湖氏

【社会福祉法人なのはな会 相談支援員】

仙台市での重症児支援の歴史を詳しく話してくださいました。仙台市での支援は充実してきたとはいえ、本人や家族の思いに応える量と質の担保が更に必要であると訴えられました。

乾祐子

【NPOあいの実 理事長】

重症児放デイを開設した経緯が説明されました。不安を抱えながらも事業性を確認しながらスタートしたこと、今では重症児放デイを開設してよかった！と感じていることが話されました。

高橋博明さん・邦子さん

・幸太郎さん

【あいの実ラズベリー利用者インタビュー】

家族の生活にゆとりが生まれるだけでなく、子どもの自立の訓練となる側面を話してくださいました。どこに住んでいてもサービスが利用できるように訴えられました。

千葉伸彦氏

【東北福祉大学 講師】

研究者としてこれまでの調査結果の一部をご提示くださいました。また、学生たちに重症児との関わりを持てるようにし、正しい情報を伝えることにより重症児支援の裾野を広げる必要性について話してくださいました。

鈴木由夫氏

【重症児デイ・ネット 代表理事】

全国重症児デイネットの発起人でもある鈴木氏は、現在の国の政策、重症児支援施設が圧倒的に足りていない点を指摘しました。また、放デイ開設の一つの手段として重症児のお母さんが事業を立ち上げるという提案もなされました。



施設が圧倒的に足りていない点を指摘しました。また、放デイ開設の一つの手段として重症児のお母さんが事業を立ち上げるという提案もなされました。

紺野昌代氏

【重症児デイkokoro 代表理事】

2人の重症児の母親でもある紺野氏は、待っていてはどうにもならないと一念発起し、重症児デイサービスを開設した経緯をお話くださいました。苦労はありながらも充実した日々を送っておられる様子がわかりました。

シンポジウム終了後、様々な方々から、やる気になった！頑張っていきたい！という声を頂きました。この会が東北での重症児支援の弾みをつける一歩となればと願っています。スタッフの皆さんもお疲れ様でした！



事前合同ミーティング



音響・ステージ・進行事前ミーティング



重症児受け入れ体制も万全！

NPOあいの実について

あいの実は、平成17年に設立された特定非営利活動法人(NPO)です。

「自分にして欲しいと思うことを他の人に行う」を理念に、性別、年齢、人種、境遇、住む地域、障がいの種別などが異なるすべての人が、互いに自立し、人間性豊かに生活を営める社会の創造に寄与することを目的としています。常に新しいことにチャレンジし、地域の福祉に貢献するパイオニアでありたいと思っています。

訪問介護事業所としてスタートし、ALS(筋萎縮性側索硬化症)等の難病支援を中心に活動してきました。難しい介護を得意とし、医療的ケアに積極的に取り組んできました。たん吸引ができるヘルパー研修事業を行い、延べ50人以上のたん吸引ができるヘルパーを育成してきました。

訪問介護を通じて、重い障がいを持つ子どもたちとも接するようになりました。そして、そうした子どもや家族が国の支援制度から漏れていることに気づき、得意分野を生かした、医療的なケアが必要な乳幼児・児童に特化したデイサービス運営しています。

勉強会の記録(敬称略)

- 4月24日 特殊浴槽Lupinusの説明 / 腰痛予防酒井医療 小川 / あいの実 理学療法士 片倉
- 5月15日 気管カニューレの抜去 あおぞら診療所ほっこり仙台院長 田中総一郎
- 6月17日 東北にもっと重症児デイサービスを！ 田中総一郎、遠山裕湖、千葉伸彦ほか



事務方スタッフと最終確認



本番前ステージリハーサル



終了後の名刺交換。人と人のつながりが大切です